

THOMSON
DELPHION

RESEARCH
My Account | Products

PRODUCTS
Search: QuickReference Boolean Advanced Delevant Help

INSIDE DELPHION

The Delphion Integrated View

Buy Now: ☒ PDF | More choices...

Tools: Add to Work File: ☐ Create new Work File ☐

View: INPADOC | Jump to:

Title: JP200311164A2: REMOTE CONTROL TRANSMITTER

Country: JP Japan
Kind: A2 Document Laid open to Public Inspection !
Inventor: HATANO YOICHI;
Assignee: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed: 2003-04-11 / 2001-10-01
Application Number: JP2001000305025
IPC Code: H04Q 9/00; G10L 15/00; H04N 5/00;
Priority Number: 2001-10-01 JP2001000305025

Abstract:
PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a remote control transmitter used for remote control of various kinds of electronic apparatuses, which enables remote control with a simple operation.
SOLUTION: The remote control transmitter is provided with a speech input unit 15, a control unit 13 which is connected with the speech input unit 15, a control panel 12, and a transmitter 14; and constituted such that the control unit 13 outputs predetermined remote control data to the transmitter 14 in accordance with the operation through the control panel 12 or the speech inputted to the speech input unit 15. Thus, the remote control transmitter is enabled to conduct remote control with a simple operation.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

Family: None



None

Other Abstract
Info:



[Nominate this for the Gallery...](#)

© 1997-2004 Thomson | Research Subscriptions | Privacy Policy | Terms & Conditions | Site Map | Contact Us | Help

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-111164

(P2003-111164A)

(43) 公開日 平成15年4月11日 (2003. 4. 11)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
H 0 4 Q 9/00	3 0 1	H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E 5 C 0 5 6
	3 1 1		3 1 1 Q 5 D 0 1 5
	3 3 1		3 3 1 Z 5 K 0 4 8
G 1 0 L 15/00		H 0 4 N 5/00	A
H 0 4 N 5/00		G 1 0 L 3/00	5 5 1 F
審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-305025(P2001-305025)

(22) 出願日 平成13年10月1日 (2001. 10. 1)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 畑野 陽一

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

Fターム(参考) 5C056 AA05 BA01 BA08 CA06 CA08

CA19 DA06 DA11 EA06 EA20

5D015 KK01

5K048 AA04 BA02 DB04 EB02 FC01

HA04

(54) 【発明の名称】 リモコン送信器

(57) 【要約】

【課題】 各種電子機器の遠隔操作に用いられるリモコン送信器に関し、簡易な操作で遠隔操作が可能なものを提供することを目的とする。

【解決手段】 音声入力部15を設け、これを制御部13に接続すると共に、制御部13が操作部12の操作または音声入力部15への音声の入力に応じて、所定のリモコンデータを送信部14へ出力するようにしてリモコン送信器を構成することによって、簡易な操作で遠隔操作が可能なリモコン送信器を得ることができる。

1 筐体

12 操作部

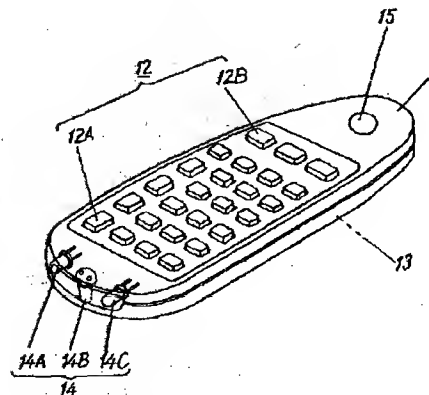
12A 電源操作キー

12B 音声認識キー

13 制御部

14, 14A, 14B, 14C 送信部

15 音声入力部



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の操作キーが配列された操作部と、機器を遠隔操作するためのリモコンデータを記憶すると共に、このリモコンデータを電気信号として出力する制御部と、この電気信号によってリモコン信号を送信する送信部と、上記制御部に接続された音声入力部からなり、上記制御部が上記操作部の操作または上記音声入力部への音声の入力に応じて、所定のリモコンデータを上記送信部へ出力するリモコン送信器。

【請求項2】 音声入力部と平行方向及び直交方向に送信部を形成した請求項1記載のリモコン送信器。

【請求項3】 制御部に予め所定の音声データを記憶させた請求項1記載のリモコン送信器。

【請求項4】 入力された音声と記憶された音声データの合否を知らせる、通知手段を設けた請求項1記載のリモコン送信器。

【請求項5】 複数の送信部を設け、操作部の操作及び音声入力部への音声入力毎に、別々の送信部からリモコン信号を送信する請求項1記載のリモコン送信器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はテレビ、ビデオ等の各種電子機器の遠隔操作に用いられるリモコン送信器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、テレビやビデオ等の電子機器の多機能化・高機能化が進むに伴い、これらを遠隔操作するリモコン送信器にも、様々な機能に対応し、かつ簡易な操作で遠隔操作可能なものが求められている。

【0003】このような従来のリモコン送信器について図4を用いて説明する。

【0004】図4は従来のリモコン送信器の外観斜視図であり、同図において、1は絶縁樹脂製の筐体、2は複数の操作キーが配列された操作部で、操作部2の複数の操作キーが筐体1上面から押圧操作可能に突出している。

【0005】そして、3は筐体1内に収納された配線基板（図示せず）上にマイコンや各種電子部品によって形成された制御部、4は赤外線発光ダイオード等の送信部で、制御部3には機器を遠隔操作するためのリモコンデータが記憶されると共に、この制御部3に操作部2や送信部4が接続されて、リモコン送信器が構成されている。

【0006】以上の構成において、操作部2と平行方向に形成された送信部4を電子機器に向けて、操作部2の所定の操作キー、例えば電源操作キー2Aを押圧操作すると、制御部3が記憶したリモコンデータの中から、この電源操作キー2Aに対応したリモコンデータを電気信号として出力し、この電気信号によって送信部4が赤外線のリモコン信号を電子機器へ送信する。

【0007】そして、この赤外線のリモコン信号を電子機器内の受信器（図示せず）が受信して、例えば電子機器の電源の入／切が遠隔操作によって行われるように構成されている。

【0008】なお、このような電源の入／切や選局、音量の切換え等は、以上のように個々の操作キーの操作によって行われるが、日付や時刻の設定といったような通常あまり行われない操作の場合には、例えば機能操作キー2Bを押圧操作した後、設定しようとする機能に合わせて、複数の数字操作キー2C等を操作する。

【0009】そして、このリモコン信号を電子機器へ送信し、電子機器への設定を行った後、再び機能操作キー2Bを押圧操作して通常の状態に戻し、個々の操作キーによる通常の遠隔操作を行うように構成されているものであった。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来のリモコン送信器においては、電子機器の様々な機能に対応した、通常あまり行われない設定を行う場合、その都度機能操作キー2Bや複数の数字操作キー2C等を操作して電子機器を遠隔操作したり、通常の状態に戻したりする必要があるため、操作が煩雑であるという課題があった。

【0011】本発明は、このような従来の課題を解決するものであり、電子機器の様々な機能に対応し、簡易な操作で遠隔操作が可能なりモコン送信器を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、以下の構成を有するものである。

【0013】本発明の請求項1に記載の発明は、音声入力部を設け、これを制御部に接続すると共に、制御部が操作部の操作または音声入力部への音声の入力に応じて、所定のリモコンデータを送信部へ出力するようにしてリモコン送信器を構成したものであり、操作部の操作に加え、音声入力部への音声の入力によっても電子機器の遠隔操作が行えるため、様々な機能に対応し、簡易な操作で遠隔操作が可能なりモコン送信器を得ることができるという作用を有する。

【0014】請求項2に記載の発明は、請求項1記載の発明において、音声入力部と平行方向及び直交方向に、送信部を形成したものであり、送信部が複数の方向に設けられているため、リモコン送信器がどの方向の状態でも、操作キーの操作や音声の入力を確実に行うことができるという作用を有する。

【0015】請求項3に記載の発明は、請求項1記載の発明において、制御部に予め所定の音声データを記憶させたものであり、比較的使用頻度の多い操作の音声データを予め記憶させておくことによって、操作の都度音声データを記憶する必要がなくなり、より簡易に操作を行

うことができるという作用を有する。

【0016】請求項4に記載の発明は、請求項1記載の発明において、入力された音声と記憶された音声データの合否を知らせる、通知手段を設けたものであり、音声を入力した際、ブザー等の音や発光ダイオード等の表示により、記憶された音声データとの合否を通知することによって、正確な操作が可能となるという作用を有する。

【0017】請求項5に記載の発明は、請求項1記載の発明において、複数の送信部を設け、操作部の操作及び音声入力部への音声入力毎に、別々の送信部からリモコン信号を送信するものであり、手動操作時と音声入力時で別々の送信部からリモコン信号を送信することによって、同時に送信する場合に比べ、送信部の消費電力を少なくすることができるという作用を有する。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図1～図3を用いて説明する。

【0019】なお、従来の技術の項で説明した構成と同一構成の部分には同一符号を付して、詳細な説明を簡略化する。

【0020】図1は本発明の一実施の形態によるリモコン送信器の外観斜視図、図2は同ブロック回路図であり、同図において、1は絶縁樹脂製の筐体、12は複数の操作キーが配列された操作部で、操作部12の複数の操作キーが筐体1上面から押圧操作可能に突出している。

【0021】そして、13は筐体1内に収納された制御部で、配線基板（図示せず）上にマイコンや各種電子部品によって形成されると共に、制御部13には機器を遠隔操作するためのリモコンデータが記憶されている。

【0022】また、14は赤外線発光ダイオード等の送信部、15はマイク等の音声入力部で、筐体1上面に形成された操作部12や音声入力部15に対し、送信部14Aと14Cは平行方向に、送信部14Bはこれと直交する下方向に向けて形成されている。

【0023】そして、これら操作部12や送信部14、音声入力部15が各々制御部13に接続されて、リモコン送信器が構成されている。

【0024】以上の構成において、送信部14を電子機器に向けて、操作部12の所定の操作キー、例えば電源操作キー12Aを押圧操作すると、制御部13が記憶したリモコンデータの中から、この電源操作キー12Aに対応したリモコンデータを電気信号として送信部14へ出力する。

【0025】そして、この電気信号によって送信部14が赤外線のリモコン信号を電子機器へ送信し、これを電子機器内の受信器（図示せず）が受信して、例えば電子機器の電源の入／切が遠隔操作によって行われる。

【0026】また、例えば音声認識キー12Bを押圧操

作し、音声入力部15に「入り」或いは「切り」と発声して入力した後、電源操作キー12Aを押圧操作すると、制御部13がこの発声を、記憶している電源操作キー12Aのリモコンデータに対応した音声データとして記憶する。

【0027】そして、次に音声入力部15へ「入り」或いは「切り」と発声すると、制御部13が入力された音声データによって、リモコンデータの中から電源操作キー12Aに対応したリモコンデータを電気信号として出力し、送信部14が赤外線のリモコン信号を送信して、電子機器の電源の入／切が遠隔操作によって行われるように構成されている。

【0028】従って、このような電源の入／切や選局、音量の切換え等のように頻繁に行う操作に加え、日付や時刻の設定といったような通常あまり行われない操作についても、以上のようにして一旦音声データとして制御部13に記憶させておけば、それ以降は、音声入力部15への音声の入力によって簡易に電子機器を遠隔操作することができる。

【0029】また、操作部12の操作キーを手動操作する場合は、通常、操作部12を上方に向け送信部14を電子機器に向けた、水平状態で遠隔操作するが、リモコン送信器をこの方向にした状態では、音声入力部15への音声入力が行いづらいため、音声入力する場合にはリモコン送信器を立てた状態、つまり音声入力部15を口に対向させた方向にした方が音声入力を行い易い。

【0030】ただし、この状態では、送信部14が電子機器の方向ではなく、上方を向いてしまうため、送信部14が筐体1上面の操作部12や音声入力部15に対し平行方向にのみ形成されたものでは、赤外線のリモコン信号が上方へ送信されてしまい、電子機器を正確に遠隔操作することが困難となる。

【0031】これに対し、本実施の形態では、送信部14Aと14Cは筐体1上面の操作部12や音声入力部15に対し平行方向に形成され、送信部14Bは直交方向に向けて形成されているため、リモコン送信器を水平にした状態でも立てた状態でも、赤外線のリモコン信号が送信部14から電子機器に向けて送信され、正確な遠隔操作を行うことができる。

【0032】このように本実施の形態によれば、音声入力部15を設け、これを制御部13に接続すると共に、制御部13が操作部12の操作または音声入力部15への音声の入力に応じて、所定のリモコンデータを送信部14へ出力するようにしてリモコン送信器が構成されているため、操作部12の操作に加え、音声入力部15への音声の入力によっても電子機器の遠隔操作が行え、様々な機能に対応し、簡易な操作で遠隔操作が可能なりモコン送信器を得ることができるものである。

【0033】そして、送信部14Aと14Cを音声入力部15に対し平行方向に、送信部14Bを直交方向に向

けて各々形成することによって、送信部14が複数の方向に設けられているため、リモコン送信器がどの方向の状態でも、操作キーの操作や音声の入力を確実に行うことができる。

【0034】また、制御部13に予め所定の、比較的使用頻度の多い操作の音声データを記憶させておくことによって、初めてその操作を行う場合でも、その都度音声データを記憶する必要がなくなり、より簡易に操作を行うことができる。

【0035】さらに、入力された音声と記憶された音声データの可否を知らせる通知手段、例えばブザーや発光ダイオード等を設けることによって、音声を入力した際、ブザー等の音や発光ダイオード等の表示により、記憶された音声データとの可否が分かるため、誤操作を防ぎ、正確な操作が可能となる。

【0036】また、以上の説明では、操作部12の操作キーを手動操作した場合も、音声入力部15への音声入力を行った場合にも、送信部14Aと14C及びこれらと直交方向の送信部14Bの全てから、赤外線のリモコン信号が送信される構成として説明したが、操作部12の操作及び音声入力部15への音声入力毎に、別々の送信部からリモコン信号を送信することによって、送信部14の消費電力を少なくすることができる。

【0037】つまり、図3のブロック回路図に示すように、送信部14A、14Cとは別に、送信部14Bを駆動するトランジスタ等を設けて送信部14を構成し、操

作部12の操作キーが手動操作された際には、制御部13が送信部14Aと14Cのみを駆動し、音声入力部15へ音声が入力された際には、制御部13が送信部14Bのみを駆動して赤外線のリモコン信号を送信することによって、手動操作時と音声入力時で別々の送信部からリモコン信号が送信されるため、送信部14の消費電力を少なくすることができる。

【0038】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、様々な機能に対応し、簡易な操作で遠隔操作が可能なりモコン送信器を得ることができるという有利な効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態によるリモコン送信器の外観斜視図

【図2】同ブロック回路図

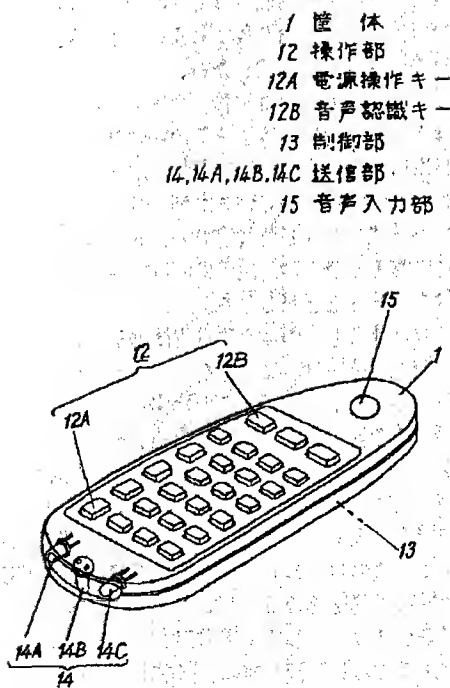
【図3】同他の実施の形態によるブロック回路図

【図4】従来のリモコン送信器の外観斜視図

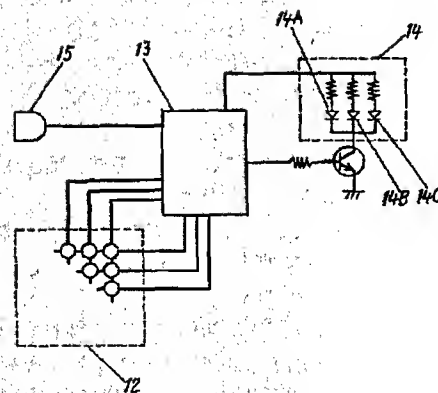
【符号の説明】

- 1 筐体
- 12 操作部
- 12A 電源操作キー
- 12B 音声認識キー
- 13 制御部
- 14 送信部
- 14A, 14B, 14C 送信部
- 15 音声入力部

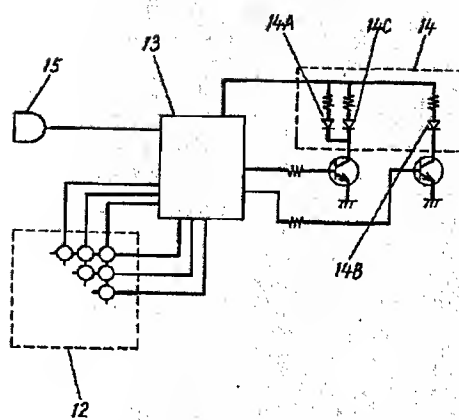
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

